

国 語

(国語表現)

発行者の番号略	教科書の記号番号	判 型	総ページ数	検定済年
17 教出	国表301	B5	184	平成25年
218 京書	国表303	B5	172	
2 東書	国表304	B5	166	平成26年
17 教出	国表306	B5	200	平成29年
50 大修館	国表307	B5	206	
183 第一	国表308	B5	192	

※総ページ数は、目録に記載されている数

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

国語表現			冊数	6冊
発行者の略称・教科書の番号	教出301 教出306	京書303 大修館307	東書304 第一308	

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【国語の目標】

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

【国語表現の目標】

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【国語表現の内容及び内容の取扱い】

「内容」の抜粋	「内容の取扱い」の抜粋
<p>ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。</p> <p>イ 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論拠の妥当性を判断しながら話し合うこと。</p> <p>ウ 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。</p> <p>エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。</p> <p>オ 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合って批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>カ 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めること。</p>	<p>(1) 生徒の実態等に応じて、話すこと・聞くこと又は書くことのいずれかに重点を置いて指導することができる。</p> <p>(2) 内容の(1)のエについては、発声や発音の仕方、話す速度、文章の形式なども必要に応じて扱うようにする。</p> <p>(3) 内容の(1)のカについては、文や文章、語句、語彙及び文語の表現法なども必要に応じて関連的に扱うようにする。また、現代社会における言語生活の在り方について考えさせるようにする。</p> <p>(4) 教材は、思考力や想像力を伸ばす学習活動に役立つもの、情報を活用して表現する学習活動に役立つもの、歴史的、国際的な視野から現代の国語を考える学習活動に役立つものを取り上げるようにする。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 話すこと・聞くことを主とする教材の数と全体に占める割合	内容の取扱い《生徒の実態等に応じて、話すこと・聞くこと又は書くことのいずれかに重点を置いて指導することができる。》	個、%
b 書くことを主とする教材の数と全体に占める割合	内容の取扱い《生徒の実態等に応じて、話すこと・聞くこと又は書くことのいずれかに重点を置いて指導することができる。》	個、%

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項

<上記調査項目関連>

- a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容（テーマと活動の形態）
- b 書くことを主とする各教材の学習内容（テーマと書かせる文章の種類）

<その他>

- * 北朝鮮による拉致問題の扱い（調査の結果、記載のないことを確認した。）
- * 防災や、自然災害の扱い（調査の結果、記載のないことを確認した。）
- * オリンピック、パラリンピックの扱い（調査の結果、記載のないことを確認した。）

② 具体的に調査研究する事項を設定した理由等

- ・ 高等学校学習指導要領では、国語表現の「内容の取扱い」において「生徒の実態等に応じて、話すこと・聞くこと又は書くことのいずれかに重点を置いて指導することができる。」と示されているため、どのような文章がどの程度掲載されているかを調査する。
- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容を取り上げている箇所について調査する。
- * 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- * 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- * 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 思考力や想像力を伸ばす学習活動に役立つ教材の扱い方
- ② 情報を活用して表現する学習活動に役立つ教材の扱い方
- ③ 歴史的、国際的な視野から現代の国語を考える学習活動に役立つ教材の扱い方
- ④ 編集上の工夫・その他

「別紙1」 【(1) 内容 ア 調査研究の総括表】 (国語表現)

調査項目			a		b	
			合 話 教 事 材 事 の 事 数 ・ と 聞 全 く 体 事 に 事 占 事 め 事 る 事 割 事 合 事		と 書 全 書 体 事 に 事 占 事 め 事 る 事 割 事 合 事	
発行者	教科書番号	教科書名	個	%	個	%
教出	301	国語表現	19	35.2	35	64.8
京書	303	国語表現	5	33.3	10	66.7
東書	304	国語表現	5	45.5	6	54.5
教出	306	国語表現 改訂版	19	37.3	32	62.7
大修館	307	国語表現 改訂版	15	38.5	24	61.5
第一	308	高等学校 改訂版 国語表現	11	33.3	22	66.7
平均値			12.3	36.5	21.5	63.5

(教材として数えた数の合計)

54

15

11

51

39

33

・abともに調査対象を本文全体とし、教材を補足するコラムや資料等については教材として数えず、その扱いを「別紙3」に記述した。

・aは「話すこと・聞くこと」の教材として編集された1主題のまとまりを1教材として数えた。

・bは「書くこと」の教材として編集された1主題のまとまりを1教材として数えた。

・「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」の活動のきっかけにしたり、活動を深めたりするために読ませる文章については、教材の中で扱っているものは「別紙2」に、資料として扱っているものは「別紙3」に記述した。

a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
声を出そう 発声・発音	呼吸法、発声と発音、早口言葉		
文字を声に変える	声に出して読む		
スピーチの方法	スピーチ		
声の発表会	友人に本を薦める朗読発表会		
挨拶と人間関係	挨拶について考える		
待遇表現 敬語によるコミュニケーション	敬語の種類と使い方を考える		
励ます言葉・受け入れる言葉	励ます言葉について考える、傾聴		
プレゼンテーションの実際	プレゼンテーション		
プレゼンテーションの技術			
スライドを使ったプレゼンテーション			
自己を分析する	面接		
質問と応答のレッスン			
模擬面接をする	ブレインストーミング		
目的に応じた話し合い			
ディベートの方法1	ディベート		
ディベートの方法2			
意思決定・合意形成のための会議	会議		
イベント企画の用意 地域社会を知る	商店街のイベント企画		
地域とつながる表現活動 イベントの実行へ	チャリティーコンサートの企画		
			「話すこと・聞くこと」小計 (19)
b 書くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
速く正確に書き写す	視写、聴写		
メモを取る、メモで伝える	適切なメモの取り方		
絵を言葉にする	絵を言葉に変える。道案内を言葉にする		
漢字の仕組みを探る	漢字の構造について考える		
語彙を探る・語彙を広げる	語彙・語彙について考える		
文字による表現	文字の使い分けについて考える		
言葉遊びを楽しむ	折り句、四字熟語のパロディ		
川柳を作る	川柳を作る		
「二次創作」に挑戦する	スピンオフ作品やパロディを書く		
連絡文の書き方	記書き文書の作成		
効果的な説明の方法	効果的な説明について考える		
相手や目的に応じた文章	読み手を意識した文章の作成		
意見を論理的に述べる	小論文(テーマ型)		
セルフディベート			
文章の型 構成の方法			
構成ノート			
テーマ型小論文の実際			
文章のリフォーム	小論文(課題文型)		
要約の方法			
課題文から問いを見つける	小論文(データ型)		
課題文型小論文の実際		エネルギー危機は起こらない『倫理学で歴史を読む』	加藤尚武
データを読む	論文作成		
データ型小論文の実際			
論文作成の準備	論文作成		
論文作成の実際			
論文の仕上げ	物語の創作		
物語作りの基礎レッスン			
テーマから物語を紡ぎ出す			
作品集作りと合評会			
メディアの特性を知る			
新聞記事を読み比べる	メディア・リテラシー		
広告というメディアを読む			
情報を編集する			
外に踏み出す第一歩 ポップの作成	ポップの作成		
見る人の心をつかむスライド作り	スライド作り		
			「書くこと」小計 (35)

a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
話すということ	スピーチ		
的確に話す	スピーチ		
調査したことを発表する	プレゼンテーション		
討論をする	ディベート		
日本語表現の特色と異文化	日本語によるコミュニケーションについて考える	謙遜表現	細川英雄
「話すこと・聞くこと」小計			(5)
b 書くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
書くということ	相手や目的に応じて書く		
記録・説明の文章を書く	記録文・説明文を書く	チンパンジーの石器利用 スズメ桜散らす 各地で急増?	松沢哲郎 朝日新聞2010年4月10日
意見文を書く	意見文を書く		
通信文を書く	手紙、メールを書く		
報告の文章を書く	報告文を書く		
小論文を書く	小論文		
言葉の歴史・文章の変遷	日本語について考える	和歌3首(万葉集)	柿本人麻呂、額田王、大伴家持
		祇園精舎の鐘の声(平家物語)	
		うつくしきもの(枕草子)	清少納言
		桃尻語訳枕草子	橋本治
		和歌1首(小倉百人一首)	清少納言
		桃尻語訳百人一首	橋本治
詩歌をつくる	詩歌をつくる	今昔物語集	
		初恋	島崎藤村
		雨ニモマケズ	宮沢賢治
		短歌	石川啄木、与謝野晶子
		和歌3首	藤原道綱母、額田王、よみ人知らず
随想を書く	随想を書く	心ときめきするもの(枕草子)	清少納言
		今日はそのことをなさんと思へど(徒然草)	兼好
		安っぽい鮎の色	江國香織
小説を書く		『夢十夜』より「第一夜」	夏目漱石
「書くこと」小計			(10)

a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
取材する〈聞き取り取材による情報収集〉	聞き取り取材	医療という現場	増田れい子
古典の表現に学ぶ〈現代に生きる古典の表現〉	詩歌を読み、日本語の表現の特徴を考える。	『枕草子』に参加してみる	渡辺実
話す〈メモをもとにしたスピーチ〉	スピーチ		
発表する〈情報を整理して口頭で伝える〉	プレゼンテーション		
討論する〈主張の観点と根拠を考える〉	ディベート	カタカナ語の氾濫を憂う	新聞投書
		無責任なカタカナ語排除の主張	
「話すこと・聞くこと」小計			(5)
b 書くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
調べる〈情報収集の技術〉	情報を収集する	本に当たる—情報探しの—方法—	立花隆
説明する〈本のおもしろさを紹介する〉	本の紹介文を書く	一人に対する未知の世界	長谷川真理子
まとめる〈情報を整理して文章にまとめる〉	論文作成	伝える力	池上彰
広告の表現に学ぶ〈広告とレトリック〉	ポスター広告を作る		
意見文を書く〈構成を考える〉	意見文を書く	「一・五」の関わり	小此木啓吾
小論文を書く〈「考え方」を考える〉	小論文を書く	時分の花と非成熟社会	中村雄二郎
「書くこと」小計			(6)

a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
声を出そう—発声・発音	発声と発音について学ぶ	他者に劈かれた声	竹内敏晴
文字を声に変える	声に出して読む		
スピーチの方法	スピーチをする		
声の発表会—「私のおススメBOOK」	本を紹介する		
挨拶と人間関係	挨拶について考える	言葉の持つ力	三浦綾子
待遇表現—敬語によるコミュニケーション	敬語について学ぶ	聴くという行為	鷲田清一
励ます言葉・受け入れる言葉	言葉の力について考える	ことばに力を取り戻すために	梨木香歩
自分を知る			
相手を知る—志望先の情報を集める	面接をする		
模擬面接をする			
プレゼンテーションの技術			
プレゼンテーションの実際	プレゼンテーションについて学ぶ		
スライドを使ったプレゼンテーション			
ブレインストーミング			
ディベートの方法	話し合いについて学ぶ		
意思決定・合意形成のための会議			
地域を知る—インタビュー	インタビューについて学ぶ		
地域と関わる—企画を立てる			
地域とつながる表現活動—イベントの実行へ	イベントを企画する		
「話すこと・聞くこと」小計			19

b 書くことを主とする各教材の学習内容

学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名（出典）	筆者・作者
表記の仕方	表記について考える	文章上達のコツ	井上ひさし
語句の用法と文のくぎり方	語句の用法に注意して文章を書く		
文章のリフォーム—推敲	推敲する		
わかりやすい説明の方法	説明文を書く		
意見を論理的に述べる	小論文（テーマ型）を書く		
セルフ・ディベート			
文章の「型」—構成の方法			
構成ノート			
テーマ型小論文の実際			
言葉遊び	言葉の音について考える		
漢字パズル	漢字の意味や構成について考える		
川柳を作る	詩歌を作る		
俳句・短歌を作る			
詩を作る		言いまつがい	糸井重里
電子メール	電子メールについて学ぶ	手紙について 市子ちゃんの手紙	高村薫 内海隆一郎
電話とメモ	メモを取る		
手紙	手紙を書く	若シ書ケルナラ僕ノ目ノ明イテイル内ニ今一便ヨコシ テクレヌカ」正岡子規から夏目漱石へ	梯久美子
要約の方法	小論文（課題文型）を書く	食べてはいけない！	服部幸應
課題文から問いを見つける		「人間と動物」という二分法との訣別	松沢哲郎
課題文型小論文の実際		地球環境への処方 ウサギに「訴える権利」はあるか	松井孝典 西研
データを読む	小論文（データ型）を書く		
データ型小論文の実際			
引用と情報源の明示			
エッセイを読む	エッセイを書く	人間の哀しさ	小川洋子
エッセイを書く		名前	宮沢章夫
作品集作りと相互批評		「希望と勇気とサム・マネー」	サトウサンペイ
二次創作を楽しむ	物語を創作する	「物語」を考え続ける	鴻上尚史
絵から物語を作る		創作の経路	星新一
テーマから物語を作る			
メディアの特性を知る	メディアリテラシーを学ぶ	たったひとつの「真実」なんてない	森達也
広告というメディアを読む			
情報を編集する			

a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
自分を見つめて	面接をする	夢を語ろう	野口聡一
効果的な自己PR		なりたい「モデル」を見つけよう	日野原重明
将来の自分を考えよう		働くことの意味	内田樹
志望動機をまとめよう			
面接にチャレンジ			
電話を使いこなす	相手に応じた適切な電話での対応		
言葉のストレッチ体操	聞く・話す・伝え合うことの基礎を養うミニゲーム		
リーダーズシアターを開こうー朗読劇の楽しみ	朗読劇を行う	羅生門、蜘蛛の糸 夕鶴 ロミオとジュリエット 金色夜叉 道行	芥川龍之介 木下順二 シェークスピア 尾崎紅葉 近松門左衛門
ショートスピーチをしよう	スピーチ	物だって生き活きしていた 話すときのツボ 非言語コミュニケーション 間の大切さ 聞く力	高橋源一郎 中田薫 大山茂夫 竹内一郎 阿川佐和子
相手や場面に応じた会話	ロールプレイ	迷惑行為にどう対処するか	北川達夫
建設的な議論の進め方	話し合いをする	科学の芽を摘むインターネット	小菅正夫
プレゼンテーションの工夫	プレゼンテーション		
働く人にインタビュー	インタビュー	人生は喜ばせごっこ	やなせたかし (聞き手 岩村暢子)
演説合戦にチャレンジ	ディベート		
開廷！模擬裁判	模擬裁判		
「話すこと・聞くこと」小計			15

b 書くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名（出典）	筆者・作者
整った文を書く	誤りがなく読みやすい整った文の書き方を知る	「それでいいです」	香山リカ
わかりやすい文を書く	読む人がわかりやすい文にするための留意点を知る	敬語は言葉の身だしなみ	北原保雄
文のつなぎ方	文と文を適切につなぐ方法を知る	論理的な表現とは？	野矢茂樹
絵や写真を見て書く	絵や写真を用いて説明文を書く		
小論文とは何か—小論文入門（１）	小論文を書く	日本語の歴史	山口仲美
反論を想定して書く—小論文入門（２）		ファストフィッシュ「手軽さ」に期待と懸念	読売新聞2012年9月16日朝刊
文章を読み取って書く—小論文入門（３）		「再生」は日常から	安藤忠雄
統計資料を読み取って書く—小論文入門（４）		無痛文明	森岡正博
発想を広げて書く—小論文入門（５）		情報化社会と考える精神	有山輝雄
レポートを書く	レポートを書く	コインは円形か？	佐藤信夫
論文を書くために	論文の書き方を知る		
通信文を書き分ける—手紙のいろいろ	手紙を書く	心に残る手紙を書こう メディアって何？ すべては編集されている 進化	黛まどか 荻上チキ 池上彰 太田光
ネット社会とコミュニケーション	ネット上のコミュニケーションを見直す		
メディアと情報	メディアの情報を比較してまとめる		
言葉で遊ぶ—回文・折句・しりとりなど	言葉遊びができる作品を作る		
詩歌を楽しむ	詩歌を作る	俳句（５句）	大高翔、上田五千石、黛まどか、稲畑汀子、鷹羽狩行
		川柳（７句）	
		短歌・和歌・狂歌（８首）	柘野浩一、栗木京子、高野公彦、橘曙覧
		漢詩（「静夜思」「春暁」）と翻訳	李白、孟浩然、土岐善麿、井伏鱒二
		詩（「小さな恋の物語」「練習問題」）	寺山修司、阪田寛夫

魅力的なポスターを作ろう	ポスターを作る	コピー誕生の瞬間	蓑田雅之
「わが町自慢」のパンフレット作り	自分の住む町のパンフレットを作る		
みんなで作ろう国語辞典	オリジナルの国語辞典を作る		
「私の虫類図譜」を作ろう	「虫類図譜」を作る	友情	辻まこと
エッセイを書こう	エッセイを書く	名の世界 目玉焼きの正しい食べ方 揃える 夕陽の輝き	角田光代 伊丹十三 赤瀬川原平 黒柳徹子
パロディー物語を書こう	著名な小説の書き出し部分をまねてパロディー物語を書く	吾輩は猫である 吾輩は猫である 変身 雪国	夏目漱石 清水義範 フランツ・カフカ 川端康成
こちら悩みごと相談室	相談内容を読み、回答を書く		
劇を作ろう	既存の小説を脚本化する		
「書くこと」小計			24

a 話すこと・聞くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
「言葉にする」ことから始めよう	言葉で伝えることについて考える	相手に「伝わる」話し方	池上彰
相手理解は聞くことから	聞くことについて考える	プロカウンセラーの聞く技術	東山紘久
考えを発表する	スピーチをする	私の誇り (NHK青春メッセージ2000)	今田真由美
話し合いをする	話し合いをする		
ディベートをする	ディベートをする		
方言と共通語(日本語の理解)	方言について考える		
敬語の分類(日本語の理解)	敬語の使い方を知る	ことばシリーズ1 敬語	大石初太郎
ニュアンスを変える助詞(日本語の理解)	助詞の使い分けについて考える	ことばから誤解が生まれる	飯間浩明
日本語のレトリック(日本語の理解)	レトリックについて考える	日本語のレトリック	瀬戸賢一
古語雑談「やさし」の語史	言葉の変遷について考える	古語雑談	佐竹昭広
コップの中の論戦(表現の研究)	論戦について考える	深夜の弁明	清水義範
「話すこと・聞くこと」小計			11
b 書くことを主とする各教材の学習内容			
学習テーマ	学習活動	読む文章	
		作品名(出典)	筆者・作者
写真からストーリーを創る	物語を作る		
写真に五七五を付ける	俳句・川柳を作る		
誕生月の詩を選ぶ	詩・詩評を書く	六月	茨木のり子
文章を書く意味	文章について考える	小論文に強くなる	轡田隆史
文章の書き方	生活に取材した作文を書く		
わかりやすい表現	文法上の注意事項を知る		
表現の工夫	修辞法を知る	あげは蝶	江國香織
描写の方法	書くことに応じた描写の工夫を知る		
メールか手紙か	手紙の意味について考える	人間はすごいな '11年版ベストエッセイ集	吉岡昭子
手紙を書く	手紙を書く		
想像の旅	コピーを書く	名作コピーに学ぶ読ませる文章の書き方	鈴木康之
紹介文・宣伝文を書く	紹介文・宣伝文の書き方を知る		
パンフレットを作る	パンフレットを作る		
記録文を書く	記録文を書く	都会の花と木	田中修
レポートを書く	レポートを書く		
資料を編集する	表やグラフを作成する		
詩のカレンダーを作る	カレンダーを作る		
課題作文を書く	課題作文を書く		
小論文を書く	小論文を書く	凡人として生きるということ	押井守
日本語の特徴(日本語の理解)	日本語の特徴を知る		
時間の見方を変えるとき(表現の研究)	文章の論理構成について考える	世界平和はナマコとともに	本川達夫
皯月(表現の研究)	小説の表現について考える	三年坂	伊集院静
「書くこと」小計			22

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(国語表現)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
教出	301	国語表現	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に「ズームアップ」というページを設け、章で扱った学習テーマに関する文章や資料を掲載している。 ・データを基に小論文を書く学習活動のほか、メディアリテラシーという章を設けている。 ・漢字と語彙をテーマとした章を設け、漢字の構造や語義について考える学習活動を設定している。 ・巻末に「ツールボックス」というページを設け、各種資料と11編の文章サンプルを掲載している。
京書	303	国語表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末に「発表しよう」、「書いてみよう」というページを設け、更なる表現活動を促す課題を設定している。 ・「調査したことを発表する」という章を設け、情報を収集し活用する学習活動を設定している。 ・「表現のルーツを知る」という編を設け、日本語の歴史・変遷、日本語表現の特色について考える学習活動を設定している。 ・一つのテーマを系統的に学習する章を15章設定し、更に全体を五つのステージでまとめる構成となっている。
東書	304	国語表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めに、学習活動の内容に関する教材文を掲載し、文章を読み思考してから学習活動に取り組む構成となっている。 ・「発表する」という単元の中で、提示された複数の情報を整理して口頭で他者に伝える学習活動を設定している。 ・「古典の表現に学ぶ」という単元を設け、古典の表現と現代語に共通する表現の特徴を活用した学習活動を設定している。 ・各単元は導入・本文・課題の三段構成で、本文ページを3段に分け、上段は本文の要約、中段は学習内容や方法、下段には具体的学習活動と関連する巻末付録のページを記載している。
教出	306	国語表現 改訂版	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に「ズームアップ」というページを設け、章で扱った学習テーマに関する文章や資料を掲載している。 ・データを基に小論文を書く学習活動のほか、メディアリテラシーという章を設けている。 ・漢字と語彙をテーマとした章を設け、漢字の構造や語義について考える学習活動を設定している。 ・巻末に「ツールボックス」というページを設け、各種資料と6編の文章サンプルを掲載している。
大修館	307	国語表現 改訂版	<ul style="list-style-type: none"> ・第一部の各章末に「表現の扉」というページを設け、学習活動の参考となる文章(20編)や資料を掲載している。 ・「グラフを読む」というページを設け、統計資料を6つ掲載し、読み取った情報を活用して表現する学習活動を設定している。 ・「詩歌を楽しむ」という章を設け、俳句・川柳、短歌(和歌)・狂歌、漢詩と翻訳詩、日本の現代詩を掲載し、日本語の変遷や特色、表現の豊かさについて考える学習活動を設定している。 ・「表現力を培う」、「表現を楽しむ」の二部構成となっており、第一部で学習した内容を第二部で活用していく学習活動を設定している。
第一	308	高等学校 改訂版 国語表現	<ul style="list-style-type: none"> ・全33教材のうち15教材で、学習テーマに関して考えさせるためのまとめた長さの文章を掲載している。 ・資料を編集するというテーマで、情報を収集・整理し、表やグラフを作成する学習活動を行う教材を掲載している。 ・日本語の起源や特徴をテーマとした文章を読ませ、言葉の変遷や特質について考えさせる教材を掲載している。 ・教科書全体の構成として「表現の基礎」、「表現の実践」、「表現の探究」という大項目で各教材をまとめている。